



コミュニティぬまづ第一

沼津市第一地区コミュニティ推進委員会広報紙 第6号 平成10年7月1日発行

婦人部

「環境問題」題講演会△云々を開催

『みなおそう ゴミの出し方 ゴミの量』

第一地区コミュニティ推進婦人部では「身近な環境問題講演会」を去る六月二日夜、地区センターで開催しました。

市のごみ担当課の職員を講師に、ごみ処理の歴史と現状、身近にできる減量について、婦人部をはじめ各町内会長、環境美化指導員の方々など、百名ほどの参加者は真剣な面持ちで熱心にお聞きになりました。

◆講演会では、先ず「ゴミ収集の現状と変遷」と題して、市クリーンセンター収集課の柿迫課長が、沼津方式導入の経緯やその後の変遷と現状を説明しながら、分別収集と減量を強く要望されました。

◆燃やすごみ重量の二分の一が水分であることから、水切りの徹底を図ること。

◆生ゴミを堆肥として再利用し減量化を図る。(市の補助金制度があります)

◆資源ごみで、空き瓶の色分けの徹底と化粧瓶や耐熱ガラスは業者が引き取らないので埋め立てごみに出すこと。

◆ビニール、プラスチック、ラップなどを燃やすごみに入れて



焼却するとダイオキシン発生のもととなるので、分別収集に十分配慮してもらいたい。

◆続いて「ごみ処理施設の現状と課題」をテーマに、同センターの下山所長が、清掃プラント

焼却施設を図解で説明、ルールを守ってごみを出さないと炉の稼働に大きな支障となることを指摘、特にアルミ缶は一般ごみのなかに絶対入れないよう強調されていました。

◆二人の話のあと、質疑応答が行われ、参加者から熱心な質問や提案が出されました。

◆買い物するとき各自が買い物袋を持参し、スーパーのビニール袋の減量を図る。

◆分別収集するごみの回収日を増やしていただきたい。

◆市でごみ袋の指定を徹底することができないか。

◆プラスチック、トレイなどは販売店で回収する事はできない

でしょうか。

◆これらについて、市ごみ対策推進課の木戸課長が「ごみ処理の基本計画については、環境保全審議会で検討中であり、皆さんの提案をできるだけ取り上げ具体化したい」と話されました。

◆今回、講演会を開催して感じたことは、一人ひとりの小さくても真剣な努力の積み重ねが、大きな前進の第一歩となるという事です。今日より明日、より快適な環境にし、快適な暮らしを目指して、お互い協力して行きましょう。

「婦人部長
江藤 まゆみ」

沼津市環境衛生大会

平成10年度の沼津市環境衛生大会は、5月29日に開催された。「自分たちのまちは自分たちの手で、住みよいまちづくりをしよう」と開かれた大会で、下記のとおり決議し、環境美化を誓った。

沼津市環境衛生大会の決議文

私たちは、自然に恵まれた沼津市の美観や快適さを保ち、次世代に引きつぐため、次の事項を守ります。

1. 私たちは、快適なまちづくりを進めるために、地域の清掃や害虫駆除につとめます。

1. 私たちは、物や心を大切にすることを育て、ごみの減量や分別排出、リサイクル運動を実践します

1. 私たちは、空き缶、空きビンのポイ捨てをやめ、地域の環境美化につとめます。

以上決議する。

沼津市第一地区コミュニティ推進委員会

平成10年度定時総会を開催

去る五月二十二日(金)午後七時より、二年目を迎えた第一地区センターにおいて、平成10年度沼津市第一地区コミュニティ推進委員会の定時総会が開催された。

総会には百三十五名が出席委任状三十一名を合わせ過半数に達し、総会は成立した。

白銀町平松自治会長の司会進行により、岡田副会長の開会の挨拶で始まった。続いて挨拶した副島会長は「コミュニティ二年目に向かっての、第一地区コミュニティ活動へのご協力と組織の充実と活性化をさらに推進し、住みよい地域作りを目指したい。」と話された。

来賓として出席した第一中学の藤田校長(今年度着任)第一小学校の佐野校長、及び沼津市市民生活課井上課長補佐から、それぞれ祝辞をいただいた。



続いて議長に川廓町・芹澤氏を選出し議事に入った。

- 一、平成九年度事業報告
- 二、平成九年度収支決算報告
- 三、会計監査報告
- 四、コミュニティ推進委員会規約の改定について
- 五、平成10年度役員選出
- 六、平成10年度事業計画(案)
- 七、平成10年度収支予算(案)

について審議され、すべて原案どおり承認された。

最後に小野田副会長が閉会の挨拶をし、総会は滞りなく終了した。

第一地区コミュニティ
納涼祭

日時:平成10年7月4日(土)18時より

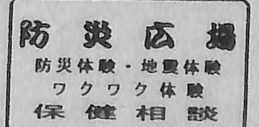
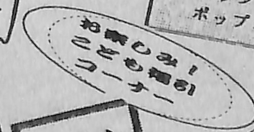
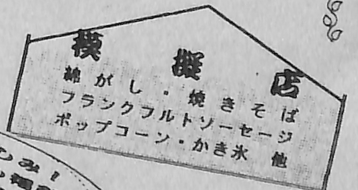
(雨天の場合、7月5日に順延)
場所:沼津第一小学校グラウンド

「フリスビードック競技」は

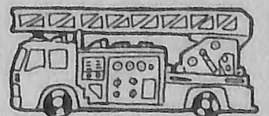
一分間の時間内にフリスビーを投げ、犬が空中で正確にくわえた回数とその姿勢・距離でポイントを競う競技です。

☆今回納涼祭で演技をしていただくメンバーは、

斉藤豪夫(父)さん、西島町
斉藤寛進(子)さん、西島町
・エリーゼ(コリーニ歳雌)
・ブライト(コリーニ才雄)
菅沼孝昭さん、柳沢



バザー:地区センター19時から



主催:第一地区コミュニティ推進委員会
主管:納涼祭実行委員会
協力:沼津市消防本部
沼津市保健センター 健康管理課
西島町 斉藤豪夫様他(フリスビードック模範演技)



また、菅沼さんも各所で入賞され、実力日本一の方です。

☆納涼祭での演技は約十五分です。日本一の演技を、ぜひご覧頂きたいと思ひます。

〔防災指導部長 鈴木 哲雄〕

交通事故削減によせて

①交通事故《ゼロ》も決して夢ではない①

誰もが交通安全を願っているのに後を絶たない交通事故。最も大きな損害は人身事故です。そんな痛ましい車社会の事故を、この世から減らす妙案は無いものだろうか……。

交通安全の運動は、春の全国運動（10日間）にはじまり、夏の運動（10日間）その中に「沼津夏祭り花火大会」に伴う安全指導があります。秋にも（10日間）、冬の年末県民運動（22日間）期間中には安全市民大会が開催されるなど、さまざまな行事や啓蒙活動が実施されております。

顧みますと、年ごとに沼津に出入りや通過する車両が増えるに伴い、道路事情も日ごとに改良され、狭い道路から広い道路に、一時停止の標識や見通しの悪い場所にはミラーを設け、情報交通を管理するハイテクシステムも数多く導入され車もオートマ車の出現でゆとりある運転ができるようになったのは嬉しい。が反面、不安はぬぐえない……。

事故の類型発生状況は、人対車両では横断中が一番多く車両相互では追突、出会い頭。各種の事故発生状況は①交差点内②夜間③女性ドライバー④ヤングドライバー⑤高齢者⑥自転車事故などとなっております。

「運転とシートベルト」は一体感で、お酒は飲まない、飲んだら乗るな、常に法定速度を心掛け、運転中は携帯電話の使用を抑えるなど、「ゆずりあい ありがとう」をスローガンに、マナーの向上とルールへの遵守を忘れないようにしたい。

この恵まれたご時世で「事故撲滅」にあの手この手と努力しても効果が薄いのでしょうか、交通戦争は終わりを告げようとしたい。大切な生命を、いとも簡単に捨ててしまうことは悲しいことです。知恵を絞って事故を何とか減らしたい。

「人口10万人当たりの交通事故数ワーストからの脱出作戦」には、市民総ぐるみの運動をあらゆる面から捉え、危機意識を、さらに普及したいと思うこの頃です。

（交通安全部長 小野田 晃）

「地震・防災マニュアル」

「自主防災」読んでますか

◇今年も「地震・防災マニュアル」が全戸配布されました
「自主防災」新聞も七、九、十一、三月と年四回全戸配布されます。あなたやご家族の方々は読んでいますか？



◇「自分たちの地域は自分たちで守る」「自分の命は自分で守る」これが「防災」の原点です。
一人ひとりが災害に備え、災害が起きた際にあわてずに適切な行動をとることが重要

と言われます。これには自身による日頃の防災意識の啓発と地域で開催される防災訓練、防災研修会などに積極的に参加し、自身の行動による防災知識の習得しかありません。これには、地域との連携が必要ですよ。

『自主防災組織』

第一地区の各自治会とも、

自主防災組織が結成されてお

り、会長をはじめ防災委員などからなる任務分担表が策定されています。任務には平時・災害時の役割と活動分担があり、組織内のたえずの意思の疎通が必要となります。

『防災訓練』

沼津市では、次の定期的な訓練を実施しています。

①七月四日（土）

「津波対策訓練」

②九月一日（火）

「総合防災訓練・県下一斉」

③十二月六日（日）

「地域防災訓練・県下一斉」

第一地区は、第一小を借りて会場型訓練を実施する。

④任意日時

「個別防災訓練・研修会」

『避難地』

災害時の避難地は各自自主防災組織ごと①地域集合場所②一時避難地③前線基地・第一小④広域避難地があります。日頃から、家族・地域で確認しておきましょう。



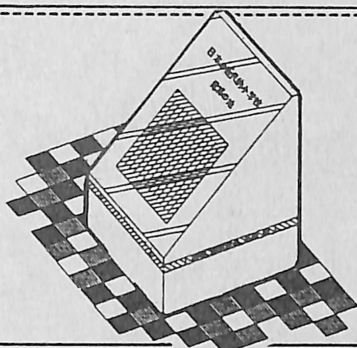
「こどもかけこみ110番のいえ」設置について

市、警察、コミュニティPTAが一丸となって子供の安全を守ってこうと、7月スタートを目標に「こどもかけこみ110番のいえ」を設置することになりました。



通学路や遊び場などでの痴漢、わいせつ行為や不審者による誘い、暴力などの危険に子供たちが遭遇しない抑止力として、また万一遭遇したときすぐに助けを求められる場所として、比較的留守の少ないお宅に「こどもかけこみ110番のいえ」の掲示をお願いしたいと思いますので、その節は、ご協力をお願いいたします。

詳しいことは、自治会長、町内一小理事の方にお問い合わせください。



資源紹介 第一小学校創立百二十周年 その一

「日本の近代的小学校発祥の地」記念碑できる

ボウルビル北の信号の横に記念碑ができたのを御存知ですか。これは沼津兵学校附属小学校の記念碑で、香陵ライオンズクラブによって今年の三月に建立されました。

沼津兵学校の予備教育機関であった沼津兵学校附属小学校は明治二年正月に開校しました。そして明治三年に外堀の外、(現在のボウルビルあたり)に約三百坪の敷地に百五十坪余の建物が建てられました。洋風瓦葺き二階建ての立派な校舎であったといえます。兵学校自体はそのあまりの優秀さ故、

日本の近代的小学校発祥の地幕末維新の動乱の中、静岡藩は沼津に、当時のわが国の最高の教育・文化の粋沼津兵学校を開校した。明治元年設立された兵学校附属小学校は代戯館に端を発し、士族平民の別なく入学を許し、洋算地理など新時代の教科や教授法を採り入れたわが国最初の近代的小学校である。校地の移転拡張がつづいたが明治三年、沼津城西の外堀に面して赤松大三郎設計になる宏壮な校舎が建てられた。沼津市立第一小学校はその伝統を受け継ぐものである。

平成十年三月 四方一彌撰文

沼津第一地区

戦後の歩み (その6)

20. 一小グラウンドにスプリンクラーを設置。

西風の強いときは砂塵が舞い上がり、学校管理運営に支障を来すことが度重なり、児童愛護会が、昭和48年12月工事費94万円で設置。昭和50年に二基を21万6千円で増設し、万全を期した。

21. 正月行事にどんどん焼きが復活した。

コミュニティの希求が叫ばれ、人間疎外の時代に昔ながらの伝統行事を呼び起こそうと、昭和50年1月15日、第一小学校に近所の子供たちを集め、第一回のどんどん焼きが行われた。



22. 学校に夜間照明を設置。

地域スポーツの種目の多様化にともない、夕食後にスポーツを行うことが増えたため、グラウンド近くの住民の方々の合意を得ながら、昭和52年6月に2基昭和55年7月に1基、更に昭和60年3月に1基と計4基の夜間照明が設置された。一中では昭和55年7月に3基設置された。

編集室だより



▼第一地区センターが開館して丁度一年、四月十四日には

利用者二万人を達成しました。二万人目の幸運の人・真砂町の主婦山口よし江さんに、記念品が贈られた。

▽市内南小林と長泉町下土狩を結ぶ吊り橋が完成、この吊

り橋を「鮎壺のかけ橋」と命名されたのは、末広町・三村悦郎さん。渡り初めの式典で表彰を受けられました。

▼コミュニティ推進委員会の新しい委員が決まりました。何かと多忙とは思いますが、「明るく住みよい地域作り」のためにお互い協力しあって頑張りましょう。

地区センター休館日のお知らせ

7月:	6.	13.	20.	27.	
8月:	3.	10.	14.	15.	16.
	17.	24.	31.		
9月:	6.	7.	14.	21.	28.

☆第一地区センター
TEL. FAX 63-5088